

未来を拓く 企業訪問

SDGsの国際目標 2030年まであと6年。地球の持続可能性は企業としても取り組まざるを得ない目標となってきました。SDGsは、社会全体が持続可能な未来を目指すための目標であり、人権デューデリジェンスはその目標達成のための重要な手段の一つです。企業は事業活動を通じて人権に配慮し、社会全体の持続可能な発展に貢献することが求められています。

HCDコンサルティング

代表 社会保険労務士 中川 勉 様
全国社会保険労務士会連合会・「ビジネスと人権」部会委員



◆主な事業内容

三重県社会保険労務士会に所属され、「ビジネスと人権」関連の情報発信や企業のコンサルティングを行っている。

※人権デューデリジェンス(人権DD)とは:企業が事業活動を通じて人権に与える影響を調査し、問題を未然に防ぎ、解決するための取り組みです。

なぜ人権 DD が重要視されるのか

世界がグローバル化し、企業の活動範囲が広がるにつれて、サプライチェーンにおける人権侵害問題が深刻化した。児童労働や強制労働、差別といった問題が表面化し、企業の社会的責任が問われるようになってきている。人権問題に関わる企業は、消費者や投資家から強い批判を受け、企業イメージの低下や経済的な損失を招く可能性があるため、取り組みが必然化される。

中小企業が直面する課題

中小企業では人権DD導入にあたり、社内リソースの不足や具体的な実施方法の不明確さなど、専門知識やリソースが不足していることから、取り組みが遅れているのが現状。しかし取り組みを進めないビジネスから排除されていくため、まずは「人権方針」を掲げるところから始めてほしい。

インタビューの感想

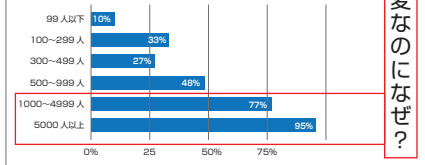
特に印象に残ったのは、日本企業の企業価値を向上させるESG指標TOP30のうち、6割は人事労務にかかっているという点でした。特に女性社員の人事労務管理が生産性向上に直結し、将来的に企業価値がより向上するようで、女性社員として興味深かったです。今回のインタビューでは普段講演されている内容のお話を伺い、紙面で伝えられることがほんの一部であるため、非常に残念でなりません。ここでの用語をきっかけに、今後の動向に注意を向けていただければ幸いです。

労働安全衛生と人権 DD の関係は

人権DDは、大手企業を中心に積極的に取り組まれている一方で、中小企業では、リソースやノウハウ不足などから取り組みが遅れている状況。しかし、政府や自治体でも推進の動きがあり、2025年4月以降、東京都の公共事業入札において「東京都社会的責任調達指針チェックリスト」の義務的事項をすべてクリアしないと、調達指針が適用される都の入札に参加できなくなる。取り組まない企業は入札に参加できず、こういった動きは東京オリンピック、大阪万博など国際的なイベントにはすでに取り入れられている。

大企業の大半が「ビジネスと人権」に着手

経団連 第3回企業行動憲章に関するアンケート結果(2023)より
従業員規模別、「ビジネスと人権」に取り組んでいる企業の割合



大変なのになぜ?

労働安全衛生と人権DDは一見異なる概念のように思えるが、東京都のチェックリストには、環境面(化学物質管理や廃棄物処理)も含まれており、重要な事項の一つとなっている。そのため、単なる法規制への対応ではなく、企業の成長戦略の一環として捉えるべき。人権DDに取り組むことは、企業イメージ向上、従業員満足度向上、長期的な経営安定、そしてサプライチェーンにおける競争力向上など、多角的なメリットをもたらす。人を育てることにお金はかかるが、生産性がUPするデータもある。

「ビジネスと人権」に 取り組みは始めている企業の割合

経団連 第3回企業行動憲章に関するアンケートによると、

2020年……36% 2023年……76%

①「ビジネスと人権」は大変なのになぜ?

②企業価値が向上するから

ココに 技あり! 政府主導 リスキリング支援活用

最近、リスキリングという言葉聞く機会が増えたと感じませんか?リスキリングとは、これまで培ってきたスキルに加えて新たな知識や技術を身に付け、変化の多い時代に柔軟に対応できる力を育てることです。政府は、社会や技術の急速な変化に対応するため、リスキリング支援を主導しており、様々な支援策を用意しています。デジタル化やAIの進展など、従来のスキルだけでは対応できなくなってきたと皆様も感じられているのではないのでしょうか。当社ではDX人材育成を目的に、リスキリング助成金を活用した独自のAIアプリケーションを構築するための研修が始まっています。最近では、YouTubeやオンラインサービスでも無料で学べるコンテンツが充実していますし、個人で学べる機会も増えてきました。スキマ時間の有効活用はいかがでしょうか。

東海テクノからのお知らせ

迅速に分析結果提供!

セルロース簡易分析計「AnySight」を開発、販売開始

当社は草本系・木質系等に含まれるセルロース類の分析を従来より行ってまいりましたが、特に木質系のセルロース量を測るためには約1か月の時間を要し、費用も高額です。今後脱炭素社会に向けたセルロースの開発が進む中では、品質管理や生産プロセスには活用しづらいと考え近赤外線の技術を活用した「AnySight」というセルロース簡易分析計を開発、リリースいたしました。非破壊的で迅速に、そしてセルロース以外にも多種多様な測定が可能です。情報番組「ええじゃない課Biz」(TOKYO MX放送)で2024年11月3日に商品紹介した動画が公開されましたので、ぜひご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=m1Ft23PHM_Q



編集後記

今回お話をを行った人権デューデリジェンスは、まだまだ聞きなじみのない単語かと思います。何年前の「SDGs」のように数年後には当たり前という言葉になっているのではないのでしょうか。本当に世の中が急速に進んでいるため、社会人として生成AI活用も含め、学びなおし(リスキリング)は重要ですね。どこまでついていけるかちょっと不安な私です。(みっちー)



社員プチコラム

市川 莉子(環境事業本部 ラボグループ)

私はディズニーランドとディズニーシーが大好きで、年に2回以上は必ず訪れています。最近、ディズニーシーに新エリアができたので9月に友人と行ってきました。新エリアのコンセプトが自然に近いものだからか、水や緑が多く、とても涼しげで気持ちよかったです。ラプンツェルのアトラクションがとても幻想的だったのでおすすめです。写真は去年のパーク内のクリスマスツリーです。ライトアップされた大きなツリーの迫力と輝きが感動的で今も印象に残っています。今年もクリスマスイベントがあるので、もし行かれる方、行かれた方は是非お話を聞かせてください!

